

平成30年度 行政評価 施策カルテ

| | |
|-----|---------------|
| 施策名 | 2 道路ネットワークの充実 |
|-----|---------------|

| | | | |
|-------|-------|---------|--------|
| 施策主管課 | 技術監理課 | 総合計画記載頁 | 154ページ |
|-------|-------|---------|--------|

1 施策の位置付け

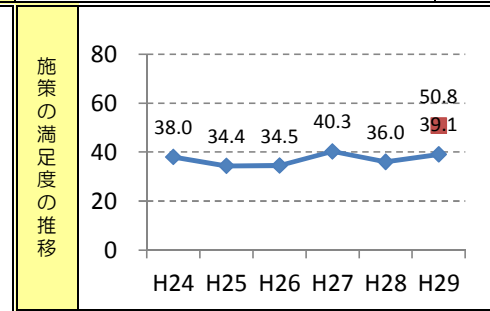
| | | | | | |
|------|----------------------------------|----------------|---------------------------|---------------------|--|
| 政策の柱 | V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために | 政策名 (基本施策名) | 22 円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する | 政策の達成目標 (基本施策目標) | 総合的な交通体系の構築により、公共交通や自動車、自転車などのあらゆる交通手段が相互に連携した、円滑で利便性が高く、安全で、ひとや環境にもやさしい、誰もが利用しやすい交通環境がつけられています。 |
|------|----------------------------------|----------------|---------------------------|---------------------|--|

2 施策の取組状況

| | |
|------|---------------------------|
| 施策目標 | 円滑で機能的な道路ネットワークが構築されています。 |
|------|---------------------------|

| ① 施策指標 | 指標名(単位) | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 (目標年) | 評価 | ② 市民意識調査結果 | 指標名(単位) | | H24 (現状値) | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | 評価 | |
|----------|--------------|----------------------------|------------|---------|----------|----------|----------|--------------|----------|--|----------|------|--------------|-----------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 指標1 | 都市計画道路の整備率(%) ※路面電車道を除く | 単年度目標値 | 67.5 | 70.7 | 71.6 | 72.9 | 72.9 | | | 73.1 | A | 指標2 | 施策の満足度(%) | 調査結果 | 38.0% | 34.4% | 34.5% | | 40.3% |
| 現状値 | | 67.5 | 実績値 | 68.9 | 69.1 | 69.5 | 70.7 | 70.8 | 71.2% | 目標値(H29) | 50.8% | | | 前年度からの増減 | -3.6pt | 0.1pt | 5.8pt | -4.3pt | 3.1pt | |
| 目標値(H29) | | 73.1 | 単年度の達成度 | 102.1% | 97.7% | 97.1% | 97.0% | 97.1% | 97.4% | ③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照) | | | | | | | | | B | |
| ① 施策指標 | 都市計画道路整備率(%) | 単年度目標値 | / | | | | | | | 【参考】 中核市等との水準比較 | 指標名(単位) | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | / | |
| | | 現状値 | 実績値 | 中核市平均 | | 62.2 | 64.5 | 65.8 | 67.1 | | 66.7 | 68.6 | | | | | | | | |
| | 目標値(H29) | 単年度の達成度 | 実績値 | | 67.5 | 67.5 | 68.9 | 69.1 | 69.5 | | 70.7 | | | | | | | | | |
| | | | 中核市での本市の順位 | | 17位/41市中 | 19位/41市中 | 18位/42市中 | 11位/43市中 | 21位/45市中 | | 23位/48市中 | | | | | | | | | |
| | | | 中核市平均 | | 63.5 | 64.7 | 66.1 | 67.5 | 68.0 | | 67.5 | | | | | | | | | |
| | | | 実績値 | | 79.0 | 79.7 | 79.9 | 80.3 | 80.5 | | 80.6 | | | | | | | | | |
| 市道改良率(%) | 単年度目標値 | / | | | | | | | 指標名(単位) | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | / | | | |
| | 現状値 | 実績値 | 中核市平均 | | 63.5 | 64.7 | 66.1 | 67.5 | 68.0 | 67.5 | | | | | | | | | | |
| | | 実績値 | | 79.0 | 79.7 | 79.9 | 80.3 | 80.5 | 80.6 | | | | | | | | | | | |
| | | 中核市での本市の順位 | | 7位/41市中 | 7位/41市中 | 8位/42市中 | 10位/43市中 | 10位/45市中 | 11位/48市中 | | | | | | | | | | | |

| | | |
|-------------------------|--|---|
| ※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について | ★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの) | $\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$ |
| | ★ 減進型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの) | $\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$ |
| | 取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況 | |
| | <p>国においては、道路関係予算の配分方針として、「被災地の復旧・復興」や「国民の安全・安心の確保」、「生産性の向上と新需要の創出による成長力の強化」及び「豊かで活力のある地域づくり」の4分野に重点化し、施策効果の早期実現を図ることや、事業の実施に際し、コストの徹底した縮減や事業のスピードアップのためのマネジメント強化、新技術の活用などイノベーションの社会実装を進めるとともに、既存ストックの有効活用やデータ等のオープン化の推進に積極的に取り組むものとしている。</p> <p>これらの方針を踏まえて地方の各事業へ交付金が配分されるが、地方の道路整備に係る要望額は増加傾向にある。</p> <p>都市計画道路の整備は、路線の重点化を図りながら、概ね計画どおりに進捗しているが、平成29年度は、一部用地取得が難航したため、単年度目標値を下回る実績となった。</p> | |



| | | | | |
|---------|-----------------|---------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| ※評価の考え方 | ① 施策指標 | A: 達成度90%超 [33点] | B: 達成度70%~90% [25点] | C: 達成度70%未満 [15点] |
| | ② 市民意識調査結果(満足度) | A: 前年度より向上 (±5pt超) [33点] | B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点] | C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点] |
| | ③ 主要な構成事業の進捗状況 | A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点] | B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点] | C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点] |
| | 総合評価 | 順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上] | 概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満] | やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満] |

| | | | | | |
|------------|--|-------|---|------|-----|
| 施策を取り巻く環境等 | ・国においては、道路関係予算の配分方針として、「被災地の復旧・復興」や「国民の安全・安心の確保」、「生産性の向上と新需要の創出による成長力の強化」及び「豊かで活力のある地域づくり」の4分野に重点化し、施策効果の早期実現を図ることや、事業の実施に際し、コストの徹底した縮減や事業のスピードアップのためのマネジメント強化、新技術の活用などイノベーションの社会実装を進めるとともに、既存ストックの有効活用やデータ等のオープン化の推進に積極的に取り組むものとしている。 ・これらの方針を踏まえて地方の各事業へ交付金が配分されるが、地方の道路整備に係る要望額は増加傾向にある。 | 市民満足度 | <p>道路に関する施策は市民生活に身近なものであり、市政に関する世論調査において重要度の認識は高い。</p> <p>道路ネットワークについては、各計画に基づき整備されていることから、市民へのPRについて工夫するなど、引き続き満足度の向上に努めていく。</p> | 総合評価 | 83点 |
| 施策指標 | ・都市計画道路の整備は、路線の重点化を図りながら、概ね計画どおりに進捗しているが、平成29年度は、一部用地取得が難航したため、単年度目標値を下回る実績となった。 | | | 概ね順調 | |

3 施策を構成する事業の状況 ※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

| No. | 事業名 | 戦略P・主要事業※ | 事業の目的 | 事業内容 | | 事業の進捗状況 | H29事業費(千円) | 開始年度 | 日本一施策事業 | 施策目標を達成するための取組方針 |
|-----|--------------|-----------|---|-----------------------|------------------------------|---------|------------|------|---------|---|
| | | | | 対象者・物(誰・何に) | 取組(何を) | | | | | |
| 1 | 都市計画道路整備事業 | ○★ | 幹線道路の整備 | 市民・地権者・道路利用者 | 道路整備・用地取得 | 計画どおり | 719,011 | - | - | ・ネットワーク型コンパクトシティの形成に向け、都市計画道路整備事業については、都市・地域間の道路交通機能の充実や、都市防災機能の向上を図るため、優先順位を定めた上で、国庫補助金などの財源確保に努め、地域住民などの理解・協力を得ながら、計画的に事業を推進していく。 |
| 2 | 幹線市道整備事業 | ○★ | 幹線道路の整備 | 市民・地権者・道路利用者 | 道路整備・交差点改良・用地取得 | 計画どおり | 1,207,700 | - | - | ・道路ネットワークの充実に向け、地域間道路交通の円滑化や利便性の向上などの観点から、国庫補助金などの財源確保に努め、地域住民などの理解・協力を得ながら、計画的に事業を推進していく。 |
| 3 | プロジェクト関連整備事業 | ★ | プロジェクトの進捗に合わせた幹線道路の整備 生活道路の整備 | 市民・地権者・道路利用者 | 道路整備・交差点改良・用地取得 | 計画どおり | 378,341 | - | - | ・交通の円滑化や高速道路の利便性の向上による地域振興を図るため、(仮称)大谷スマートインターチェンジの整備や総合スポーツゾーン整備と併せ、事業の必要性など地域住民の理解促進を図りながら、施設周辺の渋滞対策に向けた道路整備などを計画的に推進していく。 |
| 4 | 橋りょう維持修繕事業 | ○★ | 地域道路網のより高い安全性・信頼性向上 円滑で機能的な道路ネットワークの構築 | 市民、道路利用者 | 橋りょうの耐震化・維持修繕 | 計画どおり | 283,383 | H13 | - | ・橋りょうの耐震化については、国道や鉄道をまたぐ跨道橋や跨線橋など落橋により大きな被害が想定される早急に耐震化が必要な19橋が完了し、今後は上下水道やガスなどの重要な添架管(ライフライン)があり、避難場所に近接している43橋について、計画的に耐震化を図る。 ・橋りょう長寿命化については、修繕計画に基づき、詳細設計や修繕工事を実施し、橋りょうの延命化を図っていく。 |
| 5 | 道路バリアフリー推進事業 | ○ | 高齢者や障がい者の安全性・快適性の向上 円滑な道路ネットワークの構築 | 市民、道路利用者(中心部と重点整備6地区) | ・点字ブロックの整備・修繕 ・横断歩道部の段差解消 | 計画どおり | 6,415 | H13 | - | ・点字ブロックについては、必要な路線への整備が概ね完了したことから、今後は老朽化や破損の状況を調査しながら計画的な修繕を実施していく。 ・横断歩道部の段差解消については、点字ブロックの修繕工事などに併せ改良工事を行っていく。 ・バリアフリー化を積極的に進める重点整備地区のエリア拡充などの見直し及び整備内容について検討を行う。 |
| 6 | 生活道路整備事業 | | 生活道路の整備 | 市民・地権者・道路利用者 | 道路整備・交差点改良・用地取得 | 計画どおり | 410,758 | - | - | ・生活道路整備に対する市民のニーズは依然として高いことから、通学路の安全対策や地域の交通事情、緊急性など、整備の必要性を見極めながら、国庫補助金などの財源確保に努め、地域住民などの理解・協力を得ながら、引き続き、計画的に事業を推進していく。 |
| 7 | 道路排水施設整備事業 | | 都市型水害に対する安全性の向上 | 市民、道路利用者 | 道路排水施設の整備 | 計画どおり | 28,275 | H15 | - | ・道路冠水被害の低減や通行の安全確保及び生活環境の向上を図るため、道路冠水被害の発生箇所において、地形や排水経路、既存施設の排水能力などの現地調査を行い、その結果に基づき関係課と連携し被害の軽減対策を実施していく。 |
| 8 | 舗装新設改良事業 | | 道路環境の安全性と信頼性の確保 | 市民、道路利用者 | 計画的な舗装の修繕 | 計画どおり | 79,467 | H18 | - | ・「宇都宮市舗装修繕計画」を早期に策定し、その計画に基づき道路の役割・機能に応じた点検・診断・措置・記録を繰り返す「メンテナンスサイクル」を着実に実施していく。 |
| 9 | 交通安全施設整備事業 | ○★ | 交通事故の防止 通行の安全確保 | 市民、道路利用者 | 交通安全施設の整備 | 計画どおり | 82,769 | S45 | - | ・交差点や事故多発箇所における安全対策として、通学路合同点検等の結果や市民からの要望を踏まえつつ、警察や学校などの関係機関と協議を行った上で計画的に整備していく。 |

4 今後の施策の取組方針

| 課題 | 今後の方向性 | |
|---|--|--|
| | 方向性 | |
| <p>◆震災により、災害に強い都市の基盤づくりの重要性が再認識されたところであり、災害時における人・物資等の輸送を支える交通機能、さらに地震などの災害時の一時的な避難路や火災の延焼防止の各種活動を支える空間機能など、多様な機能を担う幹線道路の整備については、引き続き都市の骨格となる道路網の形成に向け計画的に取り組む必要がある。</p> <p>◆近年、集中的・局地的に発生するゲリラ豪雨により、道路冠水被害が頻発していることから、被害を把握し、状況に応じた浸水対策による安全・安心の確保に取り組む必要がある。</p> <p>◆高度経済成長期に集中的に整備された道路施設が今後急速に老朽化することが見込まれていることから、国において道路等のインフラの総点検に関する補助制度が創設されており、予防保全や劣化対策、耐震補強など適正な維持管理による安全性の確保と、長寿命化に向けた取組を計画的に進めるとともに、より一層強化していく必要がある。</p> <p>◆道路整備に係る財源は厳しい状況にあることから、国の方針や配分の考え方を踏まえ、計画的な整備に必要な財源を確実に確保していく必要がある。</p> | <p>〈施策全般〉 ◆道路整備に対する厳しい財政状況が見込まれる中、各事業の費用対効果や緊急性など、事業の優先度を考慮した上で、国の様々な補助制度を活用しながら事業を計画的に推進していく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆都市計画道路及び幹線市道整備事業 ネットワーク型コンパクトシティの形成に向け、拠点間及び拠点内の道路交通機能の充実や、都市防災機能の向上を図るため、国・県と連携を図りながら計画的に推進する。 ◆プロジェクト関連整備事業 高速道路の利便性の向上や、災害時における緊急輸送道路へのアクセス強化となるスマートインターチェンジの整備、市民生活の向上及び広域災害対策活動拠点となる総合スポーツゾーンの整備など、施設周辺の交通状況の変化による渋滞対策や安全対策が必要となることから、周辺住民の理解・協力を得ながら計画的に推進する。 ◆橋りょう維持修繕事業 重要添架管(ライフライン)や避難場所に近接している橋りょうなどの耐震化を優先的に進めるとともに、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、事業を計画的に推進する。 ◆道路バリアフリー推進事業及び交通安全施設整備事業 高齢者や障がい者を含む全ての道路利用者に対し、通行の安全確保や快適性向上を図るため、市民からの要望を踏まえつつ、関係機関と連携し、計画的に実施する。</p> <p>〈その他個別事業〉 ◆道路排水施設整備事業については、近年局地的に発生するゲリラ豪雨によって道路冠水被害が頻発していることから、通行の安全確保や生活環境の向上を図るため、発生箇所の地形や排水経路など、現地の状況を把握し、被害軽減に向けた対策を計画的に実施していく。</p> | |